

生命を生みだす母親は、

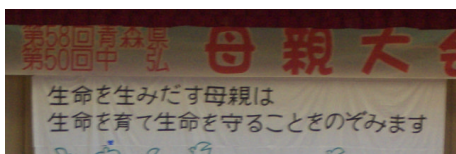
生命を育て生命を守ることをのぞみます

—第58回青森県 第50回中弘 母親大会—

6月22日(日)、弘前市立第三中学校を会場に青森県母親大会が開催され、480人が集いました。大会では、「子どもと教育」、「社会保障」、「戦争をする国づくりを許さないたたかい」、「TPP問題」、「子育てママのしゃべり場」など、3つの講座と5つの分科会、記念講演が行われました。

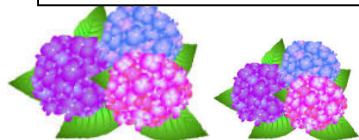
青森高教組は、第1講座『安倍政権の教育再生でどうなる子どもたちは?』(助言者:大坪正一弘前大学教授)の記録を担当しました。大坪先生は、90年代に入って急速に新自由主義教育改革が進められ、福祉や教育を削って大企業を伸ばすための施策が行われてきたこと、第一次安倍内閣における教育基本法の改悪により、「教育内容に対する統制」、「教職員に対する管理・統制」、「中央集権的な教育行政の仕組みづくり」の3つの統制が行われていることを説明し、特に教師がねらわれていることを強調しました。そして、「教師は、自分のやっていることが戦争につながるのか、平和につながるのかを自覚すること」、「教育は学校だけではできない。父母ともつながっていくことが大事である」と結びました。

No image



No image

記念講演(講師:二宮厚美神戸大学名誉教授)は、『いま憲法を暮しに生かすとき』というテーマでした。二宮先生は、改憲勢力の2グループ(財界を典型にしたグローバル競争国家化をめざす改憲勢力と、復古的・右翼的国家主義を源流にした靖国史観派)を合体した安倍政権の異常性について説明し、貧困に根ざす戦争から福祉に根ざす平和への転換を図るために憲法第9条と第25条(生存権)を双子のように守っていかなければならないと訴えました。また、今が旬であるアジサイの花のように、小さな力を集めて大きな力とし、各地域にふさわしい母親運動を広げ、うっとうしい世の中をパッと明るくしてほしいと呼びかけました。



女性部総会を行います

日時:2014年7月6日(日)10:30~12:30

場所:高教組会議室

内容:2013年度活動の総括

2014年活動方針

会計報告

各職場の情報交換 他

※お弁当を用意します。食べながらおしゃべりしましょう!



女性を侮辱する発言に 厳しい対処を!

東京都議会で女性の人権を冒瀆する「やじ」が発せられ、多くの女性を傷つけています。しかし、発言者の特定も辞職も求めずに幕を引こうとしています。

青森高教組女性部は、このようなことは断じて許すことができないと考え、都議会議長宛に抗議文を送りました。

※裏面をご覧ください。

2014年6月30日

東京都議会議長
吉野利明殿

青森県高等学校・障害児学校教職員組合
女性部長 工藤八千代
青森市橋本 1-2-25 (青森県教育会館内)
電話 017-734-7287

女性の人権を冒瀆するセクハラ発言の撤回と謝罪、真相究明を求める

6月18日の都議会本会議で、子育てや不妊治療への支援を訴えた塩村文夏議員に対して、一部の男性議員から「自分が早く結婚した方がいい」「産めないのか」などのヤジが相次ぎました。しかも周囲はそのヤジを止めるどころか、同調するような笑い声が複数者からわき起こっています。これは女性の人権を著しく傷つけるものであり、あってはならないことです。

そもそも「結婚」や「出産」については、個人的なことがらであり、ましてそれをヤジとして発することは女性蔑視のなにものでもありません。この暴言は断じて許されるものではありません。これらの発言や議会および自民党の対応の仕方に強く抗議します。

発言の内容もさることながら、特定されぬうちは名乗り出ようともせず、他人事のような発言までしていたような議員の今後の政治活動が都民のみなさんのためになるとは思えません。このように女性の人権を公然と蹂躪する態度の人々によって行われる議会が、一体どんな正しい政策を決定できるのでしょうか。

私たち青森高教組女性部は、鈴木章浩議員の処分を求めるとともに、都議会の責任で、他の発言者を特定し発言の撤回と謝罪、厳正な処分を求め、再発防止の措置をとることを求めます。

以上